

教材教具および題材	学部	授業名・集団名 (主たる教科領域)	執筆者
点描で描く天井、お寿司	高	美術 Ⅱグループ (美術)	森田 徹



- ①黒画用紙に輪郭を描いておき、枠内に綿棒でトントンと点描する。  
(どんぶりの白ご、飯寿司のシャリ、エビ天の衣)
- ②はさみで切り分けたパーツを組み合わせ、印刷しておいたどんぶりや寿司桶に貼り付ける

<ねらい>

点描でいろいろな物を描くことができる

<内容(作成方法・使用方法・工夫点など)>

- ・輪郭を描いた黒画用紙を生徒に渡し、枠内を点描させた。目立つように黒画用紙に点描した。
- ・生徒の集中力に応じて作業量を調節できた。

<良かった点・改善点(児童生徒の反応を含め)>

- ・簡単な作業(綿棒を使い点描を繰り返す)を積み重ね、パーツ作りができる。
- ・完成見本や、天井、お寿司の画像を見せることで、できあがりイメージして作業できる生徒もいた。

<その他(材料、費用、購入先等)>

綿棒、絵の具、黒画用紙、